第 66 回数理社会学会大会（JAMS66）プログラム

日時：2018 年 8 月 30 日（木）～8 月 31 日（金）
会場：会津大学
大会委員長：吉良洋輔（会津大学）

1　参加費，懇親会費（セミナーの参加は無料）

大会参加費	一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	2,000 円
	一般（非会員）	5,000 円	学生・院生（非会員）	2,500 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

2　主なスケジュール

	時間	講義棟 大講義室	講義棟 M1	その他
8 月 29 日	15:00～17:00	セミナー		
8 月 30 日	9:40～10:30	第 1 部会	第 2 部会	
	10:45～12:00	第 3 部会	第 4 部会	
	12:00～12:55			昼食休憩
	13:00～14:30			萌芽的セッション第 1 部 （講義棟 M3）
	14:45～15:45	学会賞受賞講演		
	16:00～17:00	総会		
	17:20～19:20			懇親会（学生ホール　欅）
8 月 31 日	09:20～10:50			萌芽的セッション第 2 部 （講義棟 M3）
	11:00～12:15	第 5 部会	第 6 部会	

3　主な会場（講義棟大講義室および M1）
・受付：　講義棟入口
・会員控室・抜き刷り交換コーナー：　講義棟 M2

4　口頭報告者へのお願い（自由報告）
・部会開始 5 分前に集合して，司会者と打ち合わせをしてください．報告 15 分，討論 10 分です．
・会場設置パソコンを利用できます（Windows8.1, Office2013）. 持参パソコンの場合, VGA ケーブル接続の Windows ノートパソコンが使用可能です（ケーブルは会場で用意します）．いずれの場合も持参の機器は，開場前に必ず接続テストをお願いします．
・ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）．
・配布資料は，報告直前に配布してください．残部は持ち帰るか，抜き刷りコーナーに置いてください．
・（司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください．報告 12 分で 1 鈴，15 分 2 鈴，25 分 3 鈴を鳴らします．

5　ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）
・1 日目のポスターは来場後なるべく速やかに貼りつけていただき，懇親会の開始時間までには取り外しください．この時点で残っていたポスターはこちらで撤去します．
・2 日目のポスターは当日の 9 時 10 分までに貼りつけていただき，後ほど取り外しください（閉会後でも結構です）．閉会後 10 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します．

・最大で A0（縦 1189×横 841mm）のスペースが利用可能．報告ごとにポスター位置が指定されています.
・ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です.
・部会開始 5 分前に集合してください.

6　問い合わせ先

研究事務局　〒108-8345　東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学法学部　竹ノ下弘久

E-mail：jams.research[at]gmail.com, Tel:03-5427-1097

大会事務局　〒965-8580 福島県会津若松市一箕町上居合９０ 大字鶴賀字

会津大学文化研究センター　吉良洋輔（大会委員長）

E-mail：jams.meeting66[at]gmail.com, Tel：0242-37-2625（研究室直通）

8 月 29 日（水）

13：00～15：00　編集委員会（講義棟 M2）
13：00～15：00　研究活動委員会（講義棟 M1）
15：00～17：00　ワンステップアップ・セミナー（講義棟大講義室）
15：00～17：00　選挙管理委員会（講義棟 M2）
17：15～20：00　理事会（講義棟 M1）

8 月 30 日（木）

9:00　開場・受付　　講義棟入口

9:30　開会挨拶　大会委員長　吉良洋輔（大会委員長）　　講義棟大講義室

9:40～10:30　自由報告 I

【第 1 部会】職業・転職　　講義棟大講義室
司会　平尾一朗（大阪大学）

1	転職が賃金上昇に与える影響とそのメカニズム ―職業と雇用形態の変化に着目して―	麦山亮太（東京大学大学院・日本学術振興会）
2	職業評定の 1 次元性のほころび ―Wilcoxon の対応のある符号順位検定とハッセ図を用いた分析―	辻竜平（近畿大学）

【第 2 部会】分析法・調査法 I　　講義棟 M1
司会　鈴木伸生（岩手県立大学）

1	アンケート調査の変数間の必要条件分析 ―ファジィ集合質的比較分析による統計分析―	森大輔（熊本大学）
2	機械学習の適用による調査現場での自由回答収集支援システムの構想	○髙橋和子（敬愛大学） 奥村学（東京工業大学）

＊＊＊＊休憩（15 分）＊＊＊＊

10:45～12:00　自由報告 II

【第 3 部会】教育と学校　　講義棟大講義室
司会　多喜弘文（法政大学）

1	Peer Effects in Classes and Extracurricular Activities	○藤山英樹（獨協大学） 賀茂美則（Louisiana Stata University）
2	職業学科の地位達成過程の趨勢	○池田岳大（東京大学） 濱本真一（立教大学）
3	中国の大学は世界的に存在感が上がったのか？ ―世界大学学術ランキング（ARWU）を用いた分析―	樊怡舟（広島大学高等教育研究開発センター）

【第 4 部会】分析法・調査法Ⅱ　　講義棟 M1
司会　中田知生（北星学園大学）

1	Panel Conditioning? Evidence from the Japanese Life Course Panel Survey	大久保将貴（東京大学）
2	混合効果モデルとしてみたコウホート分析モデル	○坂口尚文（慶應義塾大学） 中村隆（統計数理研究所）

＊＊＊＊昼食休憩（60 分）＊＊＊＊

13:00～14:30　　萌芽的セッション（ポスター報告）Ⅰ　　講義棟 M3

1	オープンソース・プロジェクトの活性化を阻害するコミュニティ構造の発見	○新井健太（芝浦工業大学院） 中井豊（芝浦工業大学）
2	子どもに対するひとり親家庭の因果効果の推定 ―未婚・死別・離別を区別した分析―	藤原翔（東京大学）
3	嗜好品摂取と幸福感の関連 ―他者との関係性を媒介した効果の検討―	橋爪裕人（公益財団法人たばこ総合研究センター）
4	自営業や非正規雇用からの退出後にどのような雇用形態につきやすいか？―2015 年 SSM 調査データを用いて―	平尾一朗（大阪大学）
5	出生力を考慮した教育達成格差の要因分解	○毛塚和宏（東京工業大学） 白波瀬佐和子（東京大学） 瀧川裕貴（東北大学）
6	キャバ嬢はなにを得るのか ―インタビュー分析と『小悪魔 ageha』分析による混合研究法アプローチ―	小林盾（成蹊大学）
7	Segmented Paths of Immigrants' Assimilation? Evidence from Japan	キョウ順（東北大学）
8	「クリエイティブな職業」を測定する ―ワークスタイルと消費の関連分析に向けて―	水野誠（明治大学）
9	専門学校生はどのような就労動機をもつのか ―理容師と美容師の比較を事例として―	森田厚（成蹊大学大学院）
10	ソーシャル・サポート・システムにおける重要な他者の移行 ―シークエンス分析を用いた分析から―	中田知生（北星学園大学）
11	H. Esser「状況の定義」論再考	小田中悠（慶應義塾大学大学院）
12	Why Do You Prefer that Model the Best?	Shoki Okubo (University of Tokyo)
13	社会意識に対する社会移動の効果 ―SSM2015 データを用いた Diagonal Reference Model による検討―	鈴木伸生（岩手県立大学）
14	サービス産業化時代の働き方と格差	田上皓大（慶應義塾大学大学院）
15	痩身度と社会階層	太郎丸博（京都大学）

16	児童相談所虐待相談記録についての計量分析の可能性	○藤間公太（国立社会保障・人口問題研究所） 余田翔平（国立社会保障・人口問題研究所） 坪井瞳（東京成徳大学） 西本佳代（香川大学） 野田正人（立命館大学） 原田旬哉（園田学園女子大学） 山岡祐衣（University of Oklahoma） 山口季音（至誠館大学） 泉田信行（国立社会保障・人口問題研究所）
17	多数派姓名を中間変数とした階層要因の段階的検証	塚常健太（KDDI 総合研究所）
18	評定者のジェンダー・ステレオタイプと職業威信スコア	脇田彩（立教大学）

＊＊＊＊休憩（15 分）＊＊＊＊

14:45～15:45　　学会賞受賞講演　　講義棟大講義室

＊＊＊＊休憩（15 分）＊＊＊＊

16:00～17:00　　総会　　講義棟大講義室

＊＊＊＊休憩・移動（20 分）＊＊＊＊

17:20～19:20　　懇親会　　学生ホール 1 階　欅

8 月 31 日（金）

9:00　開場・受付　　講義棟入口

9:20～10:50　萌芽的セッション（ポスター報告）Ⅱ　　講義棟 M3

1	クラウドファンディングサイト Readyfor における支援者同士の追従ネットワークに関するネットワーク分析	○雨宮俊貴（芝浦工業大学） 中井豊（芝浦工業大学）
2	SSP2015 調査における調査不能バイアスについて	○伏木忠義（新潟大学） 前田忠彦（統計数理研究所）
3	難民に対するヘイトクライムがドイツ人の難民に対する態度に与える影響	五十嵐彰（東北大学大学院）
4	家族の「個人化」をどのように測定するのか ―「2018 年社会階層とライフコースについての全国調査」を用いたリスク論的分析の試み―	川端健嗣（成蹊大学）
5	How does Exposure to Violence during Childhood Affect Adulthood Psychological Well-Being	金孟佳（東北大学）
6	継続社会調査における地点間分散の推移	前田忠彦（統計数理研究所）
7	有子既婚者の友人グループへの参加／不参加理由に関する基礎的分析	○大戸朋子（KDDI 総合研究所） 塚常健太（KDDI 総合研究所）
8	虐待の世代間連鎖 ―性別による違いに着目して―	眞田英毅（東北大学大学院）
9	高等教育へのイメージと大学中退 ―出身階層によるリスクの違いはなぜ生まれるのか―	下瀬川陽（東京大学大学院）
10	評判生成といじめ問題 ―エージェントシミュレーションによる検討―	鈴木貴久（津田塾大学）
11	災害遺児の社会的養護に関する意識調査	鈴木努（東北学院大学）
12	夫婦学歴の組み合わせと就業パターン ―専門学校学歴に着目して―	多喜弘文（法政大学）
13	雇用の流動化と学歴・学校歴	豊永耕平（東京大学大学院・日本学術振興会）
14	女性の理工系進学と社会階層 ―設置者とコホートによる差異に注目して―	山本耕平（京都大学）
15	インターンシップに参加する動機に関する研究	山下悠（滋賀大学）
16	階層帰属意識が有権者の投票行動を促進するメカニズム	横山智哉（立教大学）
17	企業の業績変動は新卒採用者に占める男女比率・文理比率に影響を与えるか？	吉田航（東京大学大学院）

＊＊＊＊休憩（10 分）＊＊＊＊

11:00～12:15　自由報告 III

【第 5 部会】階層とリスク　　講義棟大会議室
司会　数土直紀（学習院大学）

1	大人への移行の階層性	石田浩（東京大学）
2	現代アジアのウェル・ビーイング格差 ―8 か国比較による規定メカニズム解明―	○小林盾（成蹊大学） Dolgion Aldar（Independent Research Institute of Mongolia）
3	東京都下の 5 年間のデータによるひったくりの被害リスクの推定	原田豊（科学警察研究所）

【第 6 部会】相互行為と数理　　講義棟 M1
司会　金井雅之（専修大学）

1	社会的攻撃と地位階層制の数理モデル	瀧川裕貴（東北大学）
2	参照情報がある場合の人の意思決定メカニズムの研究	○川口りほ（東京大学大学院） 柳澤大地（東京大学） 西成活裕（東京大学）
3	複素数による社会ネットワーク分析の可能性	杉原桂太（南山大学）

12:20　閉会挨拶　大会委員長　吉良洋輔（大会委員長）　　講義棟大講義室

（備考）

1　○印は登壇者を示します．E は英語による報告です．The E symbol stands for English presentations.

2　「抜き刷り交換コーナー」を設けます．論文，報告書，マニュアル，自作ソフトなどを置けます．事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます．

3　ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です．詳細はセミナー案内をご覧ください．定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします．

4　ベビーシッターを利用可能です．必要な方は **7 月 31 日（火）までに研究事務局**（jams.research[at]gmail.com）にご連絡ください．

5　大学敷地内は，指定喫煙所を除いて全面禁煙となっております．ご理解ご協力を願いたします．

6　会場内での無線 LAN は，eduroam を準備予定です．

（変更履歴）

2018 年 7 月 10 日　暫定版プログラム 1
2018 年 7 月 12 日　暫定版プログラム 2
2018 年 7 月 23 日　暫定版プログラム 3
2018 年 8 月 24 日　会場場所の変更